

令和6年4月8日
大阪公立大学医学部附属病院

排液チューブを誤って抜去した事例について

当院において、複数留置していた排液チューブ（体内にたまった液を排出するために用いる管）を抜去する際に、誤って抜去する予定のない別のチューブを抜去した事例が発生したことを報告申し上げます。この事例におきまして、速やかに医療安全に関する会議を開催し、検討を行いました。その結果、チューブの種類を確認できるルールを決めること、複数の類似したチューブがある場合は複数人で処置を行うことで再発防止に取り組んでおります。

患者さん、ご家族の方をはじめ関係者の皆様には、今回このような事態を招いたことを深くお詫び申し上げますとともに、今後の再発防止に努めて参ります。